

資源物集団回収事業報奨金交付申請書の作成方法

資源物集団回収を行った後、業者から発行された「仕切書」をもとに申請書を作成します。
 提出の際は、記入漏れ、計算間違いがないか確認してください。また仕切書原本を必ず添付して下さい。代表者や振込先口座に変更がある場合は、あわせて別記様式第1号の2「変更届出書」の提出が必要となります。
 各種申請書は、市ホームページからダウンロードできます。ご利用ください。

「仕切書」の例

資源を回収した際に回収業者が発行します。業者により書式は異なります。

2022年7月7日 No. _____

〇〇〇青少年育成会 様

下記のとおりにお支払申し上げます。

税込合計金額 ¥18,363 -

(有)本城リサイクル 代表取締役 久林大作

月	日	品名	数量	単価	金額	摘要
		段ボール	641 kg	1	641	
		新聞紙	2,870	5	14,350	
		雑誌	430	1	430	
		牛乳パック	10	5	50	
		布	17	0	0	売上額がゼロ円の資源物でも回収量を転記してください。
		アルミ缶	35	65	2,275	
		スチール缶	100	1	100	
		ビールびん	79 本	3	237	
		一升びん	18 本	1	18	
		ビールびん(中)	31 本	2	62	
		びんケース	2 箱	100	200	
合計					18,363	

品名ごとに回収量、売上金額を申請書に転記します。

売上額がゼロ円の資源物でも回収量を転記してください。

※資源物の分類※

その他のびん・・・ビール大びん・一升びん以外のびん(ビール中びん、ジュースのびん等)
 びんケース・・・ビールビン等を取納するプラスチック製のケース

回収品目は業者により異なります。各回収業者にご確認ください。

※報奨金計算※

▽小数第一位を四捨五入とは?
 小数第一位が4以下なら切り捨て、5以上なら切り上げて1とし、一の位に加える方法
 例①123.5は、124となる。例② 123.4は、123となる。

▽10円未満切り捨てとは?
 一の位の数字がいくつであっても切り捨て、ゼロとすること。
 例1239円は、1230円となる。



<別記様式第3号>

資源物集団回収事業報奨金交付申請書

足利市長 あて 令和4(2022)年8月1日

住所 足利市 本城3丁目2145

代表者 役職・氏名 会長 あしかがたかうじ

この申請について、市から問い合わせする
 場合の連絡先(日中連絡可能な電話) 000(1234)5678

実施年月日 令和4(2022)年 7月 7日

回収対象資源物	回収量kg (A)	報奨金単価 (B)	報奨金額計算 A×B
段ボール	641.0 kg	7 円/kg	4,487.0 円①
新聞紙	2,870.0 kg	7 円/kg	20,090.0 円②
雑誌	430.0 kg	7 円/kg	3,010.0 円③
牛乳パック	10.0 kg	7 円/kg	70.0 円④
布類	17.0 kg	7 円/kg	119.0 円⑤
アルミ缶	35.0 kg	7 円/kg	245.0 円⑥
スチール缶	100.0 kg	7 円/kg	700.0 円⑦
ビール大びん (633ml)	79 本×0.55 = 43 kg (小数第1位を四捨五入)	7 円/kg	301.0 円⑧
一升びん (1.8ℓ)	18 本×0.98 = 18 kg (小数第1位を四捨五入)	7 円/kg	126.0 円⑨
その他のびん	31 本×0.43 = 13 kg (小数第1位を四捨五入)	7 円/kg	91.0 円⑩
びんケース	2 箱×2 = 4 kg	7 円/kg	28.0 円⑪
資源物集団回収事業 報奨金交付申請額			重量割報奨金(①~⑪)の合計 ※10円未満切り捨て 29,260 円

※①から⑪を合計後、10円未満切り捨て

※引取り業者が発行した引取り量等の記載された伝票を添付してください。(コピー不可)
 ※回収重量に1kg未満の端数があるときは、小数点第1位を四捨五入してください。